

## 令和2年第1回（2月）瀬戸内市議会定例会

### 教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

行政報告に入る前に、学校教育、社会教育の主な課題について申し上げます。

学校教育においては、小学校では来年度から、中学校では再来年度から完全実施となる新学習指導要領に示された「主体的で対話的な深い学び」の実現に向けて、各学校における授業改善や指導体制の充実を進めています。

また、一人ひとりの子どもに向き合う時間を確保し、効果的な教育活動を行うために働き方改革を推進しています。これまでも平成27年度から校務支援ソフトを導入し、諸帳簿の作成など事務作業の効率化を図る取組を行ってきていますが、さらに昨年10月から、情報共有の新たなシステムを活用して、勤務時間の把握やスケジュール管理を行い、その効果を検証しており、来年度9月から、より効率的な業務を実現できるシステムを導入する予定です。また、今年1月からは、市内小中学校に留守番電話を順次導入して勤務時間外の業務を整理できる環境づくりに着手し、保護者や地域の方々に御理解と御協力をお願いしています。これらの取組の成果を検証して、教職員の抱える業務の更なる効率化を図るとともに、時代が求める教育課題の解決や一人ひとりの子どもの自立を目指す学校力の向上に取り組んでいきます。

社会教育に関して、1月12日に成人の代表者で構成した実行委員会  
が企画して行った成人式には、市議会議員の皆さまをはじめ、たくさん  
の方々から祝福と激励をいただき、滞りなく開催することができました。  
民法の改正により成人年齢が18歳に引き下げられた後の成人式の在り  
方については、瀬戸内市社会教育委員会の答申に沿い、全国自治体の動  
向を注視しながら、民法改正後もこれまでと同様に20歳となる学年を  
対象に「おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝  
い励ます」式典として、実施していくこととしています。

また、昨年11月に岡山県が文化財保存活用大綱を策定し公表したこ  
とを受け、今後、瀬戸内市としての文化財保存活用地域計画の策定に取り  
組みます。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

#### ○ 学校施設整備について

行幸小学校校舎及び牛窓東幼稚園園舎の大規模改造工事について、仮  
設校舎を昨年末に設置し、冬季期間中に教室等の移動作業を終え、3学  
期から既存校舎の改修工事に着手しました。

これらの工事の実施に際しては、各学校や建設業者等との連絡調整を  
密にし、極力教育活動への影響が少ないよう、また、児童の安全には十分  
留意しながら進めていきます。

邑久小学校においては、第1プールのリニューアル改修工事を進めて

います。試運転や検査等が、一部4月にずれ込む見通しとなっていますが、学校関係者の御協力のもと、工事はほぼ順調に進んでいますので、令和2年度のプールの授業については、新しくなった施設を使っただけのものと考えています。

来年度の学校施設整備についても、計画的に実施するため、今議会に  
関係予算を計上していますので、御理解をお願いします。

#### ○ 校内通信ネットワークの整備について

令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境整備を行う「GIGAスクール構想」を盛り込んだ国の補正予算が成立しました。「GIGAスクール構想」とは、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させるために、児童生徒1人1台端末を前提とした高速大容量の通信ネットワークを整備するというものです。

現在、市内小中学校の通信ネットワーク機器は老朽化し、通信速度も十分ではなく、将来的な児童生徒1人1台端末の実現に対応することができない状況です。そのため、国の補正予算に係る補助事業を活用して、通信ネットワーク環境の整備工事を行い、通信速度の高速化を図りたいと考えています。

当該事業には、国から2分の1の補助金や地方債元利償還金に対する交付税措置があります。財政的に非常に有利であることから、今議会の補正予算に所要の経費を計上していますので、よろしくをお願いします。

## ○ 夢二のふるさと芸術交流プロジェクトについて

2月2日に3年目となる夢二コンクールの本選が終了しました。台風の影響で日程の変更がありましたが、予選に参加した21人の応募の中から予選を通過した10人によって行われ、入賞者に対して賞状と記念品が授与されました。

夢二コンクールを周知するためのプレミアムコンサートやスクールコンサート、また、市民が企画した市民コンサートや夢二に因んだ関連イベントなどの事業が多彩に実施され、現在までの参加総人数は、約6,700人となり、昨年度の人数を上回る見込となっています。

また、コンサートとともに市内を訪れてもらうことを目的とした夢二ドライブマップをコンサート会場などで配布したところ、昨年度の1.5倍以上となる約180人の方々がスタンプラリーを達成され、市内観光施設の回遊性の向上を図ることができました。

3年間の予定であった夢二のふるさと芸術交流プロジェクトは、今年度が最終年度であり、夢二に因んだ企画やコンサートに、延べ約2万人の参加がありました。市民とともに事業を実施したことで芸術文化の気運が高まり、郷土の偉人に対するシビックプライドを醸成する機会となりました。

今後、この盛り上がりを継続できるよう、引き続き市民の文化芸術活動を支援していきたいと考えています。

## ○ 日本画講座について

牛窓町在住の日本美術院同人、井手康人氏を講師に迎えて開催した日

本画講座では、夢二生家記念館を会場に市民が竹久夢二ゆかりの椿を描き、牛窓東幼稚園への出前講座では、園児たちが初めて触る岩絵の具を使って、楽しみながら思い思いの絵を描きました。

講座で描いた作品は公民館で展示した後、院展会場外において展示されたことで、日本画ファンから注目を集め、講座参加者らが院展会場を訪れるなど日本画に親しむ機会となりました。

日本画を身近に感じながら、著名な講師による丁寧な解説によって、日本画を基礎から学ぶことができる本格的な講座として好評を得ています。

#### ○ 国宝「太刀 無銘一文字 山鳥毛」について

国宝「太刀 無銘一文字 山鳥毛」につきましては、2月7日に所有者との間で売買の仮契約を締結することができました。現在、瀬戸内市に里帰りとなった後の活用計画を「山鳥毛里づくりプロジェクト(仮)」(国宝「山鳥毛」活用基本計画)として策定を進めています。

今後、議会で購入に係る議案の議決をいただき所要の手続を経て里帰りとなった際には、この活用計画をもとに事業を実施していきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。

#### ○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では、2月1日から3月29日まで、テーマ展「県内外の赤羽刀展」を開催しています。

今回は、本館所蔵の赤羽刀だけでなく、新見市美術館所蔵、高梁市所蔵

や丸亀市所蔵など県内外の赤羽刀を含める約40口を展示しています。赤羽刀は、平成7年に接收刀剣類の処理に関する法律が施行され、ゆかりのある地域で活用するような計画が決定されました。このため、現在赤羽刀は全国に散っていますが、今回はその中の一部を集めて展示を行っています。

また、現在、日本とポーランドの国交100周年を記念してポーランド国クラクフ市にある日本美術・技術博物館 マ ン ガ マ ン ン ガ ハ 館において、3月1日まで本館所蔵の備前刀約30口の展示を行っています。

来年度の主な展示としては、5月16日から7月5日までテーマ展「特別展 桃太郎と吉備津彦神社展（仮）」、7月14日から8月30日まで「特別展 武者絵と日本刀展（仮）」などを予定しています。

#### ○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では、「驚愕の超写実展」が、1万984人の来館者を数え、大変好評のうち1月19日に終了しました。

1月24日から2月6日までは、常設展「佐竹徳展—写真・映像に見る画家の姿—」を開催し、当館所蔵の佐竹徳氏の作品とともに、絵画を制作する過程や生前の佐竹氏の姿を写真と映像で紹介しました。

また、2月9日から2月16日までは、「和気瀬戸内中学生美術展」として、和気郡と瀬戸内市の中学生や高校の美術部が制作した作品を展示しました。この展示を通して、地域の学校との連携や、子どもが美術に興味をもつ機会を創出し、瀬戸内市の文化色豊かなまちづくりを目指していきます。

2月21日から3月15日までは、「炭田<sup>すみださき</sup>紗季展—みちをたどる—」を開催します。炭田紗季氏は牛窓町出身で現在も牛窓で活動されている作家で、牛窓をモチーフとした絵画作品数十点をご覧ください。

また、来年度は、猫を描いた作家二人による「西脇<sup>にしわきなおき</sup>直毅・吉村<sup>よしむらたいせい</sup>大星二人展」、昨年好評だった「美術巨匠逸品展」の第二弾などを予定しています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

令和2年2月19日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行